
SOA化でEcoSystemのご提案！ 業務の変更・追加・連携に、すばやく対応 JBATが情報連携支援ソリューション「SystemWebService 2.0」を発表

JBCCホールディングス株式会社の事業会社でJBグループの独自ソリューション開発会社として発足した、JBアドバンスト・テクノロジー株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：山田隆司、以下JBAT）は、SOA時代の情報連携支援ソリューション「SystemWebService 2.0」を発表します。

“変化がますます激しい市場環境の中、業務プロセスを柔軟に変更したり、プロセスの革新を進めたい” “グループ内のIT資産の重複をなくし、全体最適化を進めたり、M&Aや企業統合・提携に伴うシステム・情報連携を速やかに行いたい” という要求が顕在化してきています。

これらのニーズにこたえる形で登場したのがサービス指向アーキテクチャー（SOA）であり、当初、日本市場では、考え方が理解されにくく、なかなか浸透しなかったSOAへの期待が、昨今、急速に高まっています。このたびJBATでは、SOA時代の情報連携支援ソリューション「SystemWebService 2.0」を発表します。情報連携支援ソリューション「SystemWebService 2.0」は、ESB（EnterpriseServiceBus）を標準搭載しており、企業内もしくは企業グループ内のSOA化されたシステム（Webサービス、ERP、手組みシステム、レガシーシステム）とのリアルタイムな情報連携を可能にし、システムの追加・変更の柔軟性、統制の容易性を確保します。また、情報の流れの可視化とメッセージログの蓄積による内部統制（J-SOX）への対応も支援します。「SystemWebService 2.0」はJBグループが今後お客様のSOAに取り組んでいく上で、核となる製品として送り出すものです。

“自社のビジネスモデルを大幅に改革したいが、既存のIT資産を再構築する費用や時間はない” “業務の変更、追加、もしくは連携を速やかに行いたい”等のお客様要望にシステムインテグレーションのコアとして、今後展開するSOA対応製品のコアとして、「SystemWebService 2.0」は、十分に応えることのできる製品です。まさに、JBグループがお客様に提供する「EcoSystem」の考え方です。

「SystemWebService 2.0」の初年度出荷目標は50本以上（価格：オープンプライス）を目指します。

JBATでは、今回の発表をスタートとして、関連するソリューション製品を随時発表していきます。

*JBCCホールディングスの事業会社10社をJBグループと総称

『経営戦略に役立つIT活用セミナー』で今回発表の製品を含む、各種新製品をご紹介します。

共催：JBAT、JBCC/東京(4/22)・名古屋(4/24)・大阪(4/25)にて <http://www.jbcc.co.jp/seminar/semina/index.htm>

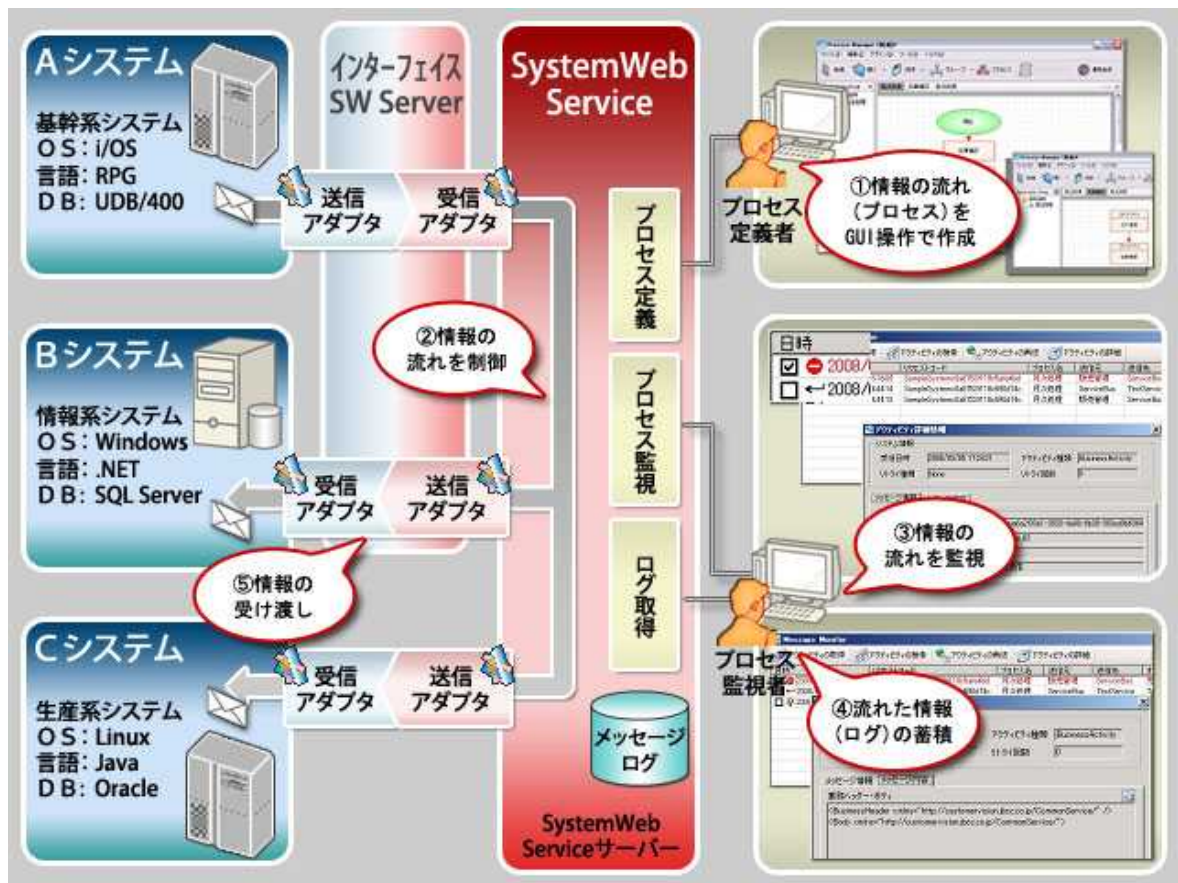
<お問い合わせ先>

・報道関係の皆さま

JBCCホールディングス 広報担当 松尾/村松 Tel:03-5714-5124 e-mail: cv_mail@web.jbcc.co.jp

・お客さま

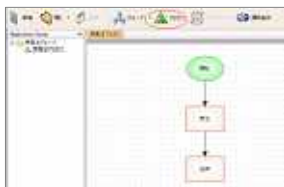
JBAT ソフトウェア事業部 武田 Tel:03-5714-5328 e-mail: jsw@web.jbcc.co.jp



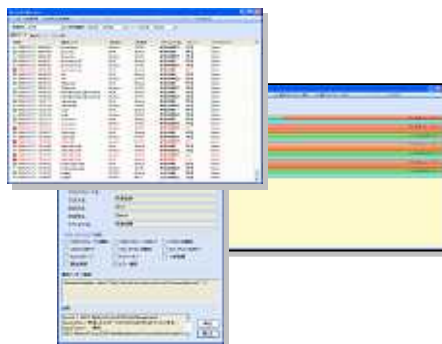
【製品の機能】

- ◆ データをワークフローで受け渡すためのパス機能(ESB)
- ◆ GUIによる簡単にワークフローを作成するための機能
- ◆ システム連携の状態を監視するモニタ機能
- ◆ 基幹/情報システムに対してデータを送受信するためのアダプタ機能
- ◆ メッセージの追跡・再利用のためのログ取得機能

ワークフロー画面



メッセージモニター画面



動作形態 Webサービス

動作環境

サービスパス Windows

接続可能な環境 Windows(.NET) / Linux(Java) / i5(Java)